

● 大規模災害を想定したメインフレーム2系統システムの本格稼動と完全二重化構成データセンターの構築完了について

各 位

令和2年8月29日

高知信用金庫（理事長 山崎久留美）は、金融システムの心臓部ともいえるホストコンピュータの安全性・信頼性を南海大地震などシビアアクシデントに耐え得る水準とするため、県民のお取引や情報を守る安全安心なインフラ整備を、32年にわたり継続してきました。

この度、その最終段階であるメインフレームを新システムに刷新し、春野第一センター内「メインタワー」「バックアップタワー」に設置した2つのデータセンターに、それぞれ単独で運用可能なホットスタンバイ・二重化構成のホストコンピュータメインフレーム環境を構築すると共に、両センターのいずれかを現用系に切り替えて相互運用できるよう開発した『メインフレーム2系統システム』を完成させ、システム移行・系統切替にも成功し、この8月から本格稼動いたしました。

これにより、完全二重化構成データセンターの構築が完了し、大規模災害時においても県民の地域インフラとして貢献できる業務継続体制が整いました。

当金庫は今後とも、データセンター最高水準「ティア4」レベルの安全性の実現を目指すと共に、役職員が一丸となって、安心・安全で高品質な金融サービスを県民の皆様に提供して参ります。

以 上

県民の地域インフラ、安全安心な取引基盤を

メインフレーム 2系統システム完成

高知信用金庫は、南海大地震を想定し、
県民のお取引や情報を守る安全安心なインフラ整備を、32年にわたり継続してきました。
今回完成した「メインフレーム2系統システム」は、その集大成と言えるものです。
同じ能力を持つ双子のメインセンターとバックアップセンターが、相互に連携、補完し合うことで、
大規模災害にも耐え得る業務継続体制を実現して参ります。



Main Center
メインセンター

双子のデータセンターが相互連携

安全対策 1
2×2で安全度を4倍に

旧システムでもホストコンピューターがダウンした際には、待機システムに切り替わる「二重化」を実現していました。言わば、2つの「心臓」をもっていた訳ですが、メインセンターの建物を被災するような大災害を想定し、完全に同じ仕様のホストコンピューターが稼働できるバックアップセンターを新設しました。これで「2×2」で計4つの「心臓」となり、安全度が4倍に向上しました。

安全対策 2
ネットワークも2系統化

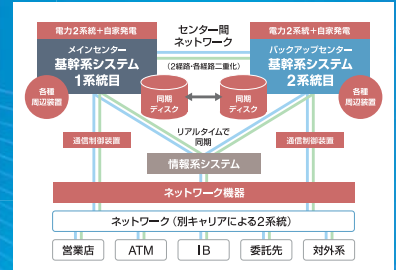
新システムでは、メインフレームに加えて、周辺機器を含めたネットワークの2系統化も実現しています。このため、メインセンター、バックアップセンターはそれぞれ単独で運用することが可能となっています。さらに、各センターは単独で二重化されたネットワークを使えます。つまり、「心臓」だけでなく、「血管」の安全度も極めて高い構造になっています。

安全対策 3
オペレーションの安全性確保

システムが2系統の場合は、切替作業が不可欠です。通常時の「計画切替」と緊急時の「緊急切替」が想定されますが、一般的には通常時と緊急時は違う手順をとる場合が多く、緊急時に人的ミスが発生する可能性があります。このため、新システムでは、双方のオペレーションを同一手順にするとともに、可能な限り自動化し、より安全なオペレーションを実現しました。

安全対策 4
次世代見据え能力強化

サーバ拡大やビッグデータの蓄積・解析推進など、次世代金融システムを構築していくには、余裕のある処理能力が必要です。新システムは、CPU能力やメモリ容量など各センターの能力を強化しています。また、開発スピードを向上させるために、一つだった開発環境を4倍に増やし、安定したシステムの保守と同時進行で、開発テストを多重化で運用できる体制を整えています。



Backup Center
バックアップセンター

天災リスクに挑む

高知信用金庫に課せられた大きな社会使命だと肝に銘じ、昭和63年に春野の地に巨大地震に耐え得るコンピューターセンター構築を決定。平成22年、春野第一センタービルが竣工しました。以降、山本終身名誉会長のライフワークが当金庫の事業目標として浸透し、地域のため貢献できる高知信用金庫を目指して、全役職員が日々研鑽を重ねています。

終身名誉会長 **山本正男**

最高水準の安全度に

山本会長のライフワークを具現化した双子のデータセンターがついに完成しました。M8.7の大地震を設計基準としたメインセンターだけでも高い安全度ですが、水没などのシビアアクシデントを想定したバックアップセンターを備えることで、安全度を飛躍的に高めました。これにより、データセンター最高水準の「ティア4」レベルの安全性の実現を目指しています。今後は両センターを活用し、役職員が一丸となって、安心・安全で高品質な金融サービスを県民の皆様へ提供して参ります。

理事長 **山崎久留美**

データセンター最高レベルの安全基準へ

**メインセンター
バックアップセンター
天災リスク対策**

3次元免震装置
ホストコンピューターは、3次元免震装置を完備したデータセンターに設置しており、独自開発した天吊り方式とあわせて、耐震性・免震性の両面から安全措置を講じています。



電源喪失に備える
お客様のお取引を維持するために、「電力」は欠かせない要素です。メインセンター・バックアップセンターは、万が一の災害に備え、それぞれ2系統の発電機から電力供給を受けると共に、センター全体が開入る大型非常用自家発電装置を設置しています。



エネルギーの備蓄
非常用自家発電装置の燃料として、メインセンターには、重油約2万リットル、バックアップセンターには、約1.5万リットルを備蓄し、万一の災害時に長期間にわたり事業継続ができる体制を整備しています。



.com
BANK

高知信用金庫
0120-101056
受付時間：平日 09:00-17:30